

平成 23・24 年度 土木学会複合構造委員会 第 8 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 24 年 7 月 27 日（金）14:00～17:30
2. 場 所：土木学会 B 会議室
3. 出席者：杉浦委員長，島副委員長，西崎幹事長，池田幹事，大久保幹事，大山幹事，斉藤幹事，立神幹事，広瀬幹事，古市幹事，松本幹事，溝江幹事，渡辺幹事，竹原事務局，佐藤 H209 委員会委員長
(欠席者：奥井幹事，葛西幹事，下村幹事)

4. 配布資料

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 資料 幹8-0 | 第8回複合構造委員会幹事会議事次第 |
| 資料 幹8-1 | 第7回複合構造委員会幹事会議事録（案） |
| 資料 幹8-2 | 第3回複合構造委員会議事録（案） |
| 資料 幹8-3-1 | 幹事会名簿・委員会名簿 |
| 資料 幹8-3-2 | 幹事会作業分担 |
| 資料 幹8-3-3 | 複合構造委員会組織図 |
| 資料 幹8-4 | H209委員会の存置期間延長について |
| 資料 幹8-5 | 論文集特集号 |
| 資料 幹8-6-1 | FRPシンポジウム工程表 |
| 資料 幹8-6-2 | FRPシンポジウム準備状況 |
| 資料 幹8-6-3 | FRPシンポジウムプログラム編成案 |
| 資料 幹8-6-4 | FRPシンポジウム行事計画書 |
| 資料 幹8-7 | （欠 番） |
| 資料 幹8-8 | 受託研究について |
| 資料 幹8-9-0 | 出版関係 |
| 資料 幹8-9-1 | 出版企画書 |
| 資料 幹8-9-2 | 販売促進活動計画書 |
| 資料 幹8-9-3 | 出版企画書記入例 |
| 資料 幹8-10-0 | 小委員会一覧 |
| 資料 幹8-10-1 | （欠 番） |
| 資料 幹8-10-2 | （欠 番） |
| 資料 幹8-10-3 | （欠 番） |
| 資料 幹8-10-4 | （欠 番） |
| 資料 幹8-10-5 | （欠 番） |
| 資料 幹8-10-6 | （欠 番） |
| 資料 幹8-10-7 | （欠 番） |
| 資料 幹8-10-8 | （欠 番） |
| 資料 幹8-10-9 | （欠 番） |
| 資料 幹8-10-10 | 基礎からわかる複合構造 理論と設計 講習会報告 |
| 資料 幹8-11 | 第9回複合構造委員会幹事会について |
| 資料 幹8-12 | 国際センターについて |
| 資料 幹8-13 | 学会誌に関する依頼 |

5. 議事内容

(0)委員長挨拶

幹事会開催にあたり、杉浦委員長より挨拶があった。また、今回より新たに2名の幹事が加わったため、自己紹介がなされた。

(1)平成23・24年度第7回複合構造委員会幹事会議事録の確認（資料 幹8-1）

西崎幹事長より、前回幹事会議事録案が読み上げられ、一部語句修正の上、承認された。

(2)平成23・24年度第3回複合構造委員会議事録案の紹介（資料 幹8-2）

松本幹事より、第3回複合構造委員会議事録案が紹介され、一部語句修正を行うこととなった。

(3)幹事の役割分担について（資料 幹8-3-1～8-3-3, 8-12）

西崎幹事長より、幹事の役割分担について以下の説明があった。

- ・企画と出版は立神幹事が担当する。
- ・H209 委員会の連絡幹事は立神幹事が担当する。
- ・H211 委員会の連絡幹事は大久保幹事が担当する。
- ・学会の国際センターから依頼のあった情報グループへの参加・協力に関し、池田幹事（国際連携小委員会幹事長）を委員として推薦する。なお、作業量が多いなどの問題が発生した場合には、国際連携小委員会の拡充について検討することとする。

(4)H209 委員会の存置期間延長について（資料 幹8-4）

佐藤 H209 委員会委員長より、H209 委員会のこれまでの活動成果の報告と今後の検討課題について説明があり、存置期間の延長が了承された。この際に行われた議論の主な内容は以下のとおり。

- ・第1期の活動成果は、今年度の研究討論会ならびに共通セッションにて公表する予定である。
- ・第1期の活動成果をとりまとめた報告書を作成中である。完成次第、幹事会に配布するので、意見をいただきたい。
- ・FRP による補修補強に関する国内の技術資料が10年ほど更新されていないが、今後、H211 委員会と協力し、対象をコンクリート構造物に限定しない形で更新できるよう前向きに取り組んでいただきたい。

(5)論文集特集号について（資料 幹8-5）

大山幹事より、論文集特集号発刊のための検討状況について説明があった。この際に行われた議論の主な内容は以下のとおり。

- ・FRP 構造も本特集号の領域であるが、特集号のタイトルは土木学会論文集特集号（複合構造）が良い。
- ・学会の会計上、論文投稿・掲載に係る費用は、シンポジウムの経費として精算するしか方法が無い。ため、毎年3月末までに特集号発刊の作業を終了させる必要がある。逆算すると、シンポジウムの開催時期をこれまでよりも3週間ほど早い10月中旬に設定しなくてはならず、建築学会と調整する必要が生じる。
- ・特集号の発刊に係る費用は、J-STAGE 掲載のための費用（1編あたり最大2,000円）と特集号編集小委員会の活動費であるが、数編の投稿費でこれらすべてを補うことはおそらく困難である。
- ・特集号編集小委員会委員の委嘱期間については、数回の任期で候補者がいなくならないように配慮する。
- ・非会員が本特集号に投稿できるようにするについても検討する。なお、現状、土木学会論文集には投稿可能である。

- ・特集号編集小委員会の設立について、次回幹事会で最後の議論を行った後、メールにて委員会に諮る。なお、最後の議論に向け、事前検討チームに杉浦委員長と島副委員長に加わっていただく。

(6)第4回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウムについて（資料 幹 8-6-1～8-6-4）

溝江幹事より、第4回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウムの準備状況について説明があった。また、開会式、閉会式での挨拶は、それぞれ杉浦委員長、西崎幹事長が担当することとなった。

(7)土木学会年次大会について

西崎幹事長より、共通セッションの座長予定者であった斉藤幹事と奥井幹事が他部門の座長を務めることになったとの報告があり、斉藤幹事の代理として古市幹事が、奥井幹事の代理として利根川委員が共通セッションの座長を務めることとなった。

(8)受託研究について（資料 幹 8-8）

西崎幹事長より、第3回委員会にて受け入れが承認された FRP 水門技術指針作成小委員会に関する情報として、「ダム・堰施設技術基準・同解説」（以下、ダム・堰基準）が改訂作業中であることが判明したとの報告があった。この際に行われた議論の主な内容は以下のとおり。

- ・本委員会の成果となる指針は、基本的に複合構造標準示方書（以下、複合標準）と整合しているべきである。しかしながら、受託研究であるため、実務で使用される指針とすることが望ましく、そのためには、許容応力度法がベースとなっているダム・堰基準と整合させる必要がある。
- ・可能な限り、複合標準とダム・堰基準の両者に整合させるよう努めるが、困難な場合にはダム・堰基準との整合を優先させ、複合標準と整合した技術資料は付属資料として示すこととする。これにより、将来、複合標準がダム・堰基準に引用されることが期待できる。

(9)出版関係（資料 幹 8-9-0～8-9-3）

立神幹事より、出版図書の販売状況について説明があった。また、平成25年4月から平成26年3月末に制作費が発生する図書が対象となる平成24年度の出版企画書の作成依頼があり、H206委員会、H210委員会、H211委員会が対象になり得ることを確認した。各委員会の連絡幹事は、それぞれの小委員会に確認し、出版希望がある場合にはメールにて企画書を提出することとなった。

(10)小委員会報告審議事項（資料 幹 8-10-0）

H211 FRP と鋼の接合方法に関する研究小委員会

西崎幹事長より、小委員会の成果として、複合構造レポートを2冊（接着と接合）発刊する方向で活動を進めているとの報告があった。

H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会（資料 幹 8-10-10）

大山幹事より、平成24年5月29日に開催した「基礎からわかる複合構造—理論と設計—」講習会の行事報告があった。

(11)次回幹事会について（資料 幹 8-11）

西崎幹事長より、次回幹事会の開催日時と開催場所について説明があった。

- ・日時：平成24年9月6日（木）14:00～17:00
- ・場所：名古屋大学工学部8号館北棟210号室

(12)その他（資料 幹 8-13）

西崎幹事長より、学会誌編集委員会から依頼のあった委員会活動の紹介記事作成について説明があ

り，複合構造委員会は本企画に協力することとした．

以上（記録・文責 溝江）